

1 学年 SS 基幹探究 探究基礎 報告

日 時	4 月 18 日～6 月 28 日の月、水、木曜日 各 1 時間
場 所	富山中部高校 諸教室
参加者	1 学年探究科学科 80 名
指導者	中部高校数学科・理科・英語科・国語科・地歴公民科教諭 10 名

4 月 18 日から 3 か月にわたって週 3 回のペースで、SS 基幹探究 探究基礎 I の活動を行いました。この授業は、今後の探究活動の基礎になる読み解く力の育成を目指しています。1 学年探究科学科生徒 80 名が 1 班 16 名の 5 班に分かれ、数学、理科、英語、国語、地歴公民の 5 教科各 4 時間で、生徒の活動を中心とした授業に取り組めます。1 学年生徒にとっては初めての探究活動で、どのような活動が行われるか不安でしたが、普段の学習をベースとした応用が中心で、生徒同士で意見を交わし合うことも多いので、楽しめたという声が聞かれました。



数学の授業



理科の授業

数学では、仲間と協力し合いながら文字で表した式の法則性を求め、思考力や帰納的なものの考え方を学びました。理科では、身近に起きている現象について書かれた文献を読解し、理解した上でその応用を考えることを通して考察力を高めました。英語では、英語で記されたテキストから素早く情報を取り出すことや、その情報を理解しまとめる能力を高めました。国語で

は、「奥の細道」越中路の部分で、旅の随行日記や江戸時代の古地図などの複数の資料を活用して読解する力を養いました。地歴公民では、統計や記事という資料をもとに正確に情報を読み取り、論理的に思考する力を伸ばしました。

全ての教科において、何が書かれているかを正確に読み取るという読解力の重要性が感じられました。それと同時に自分の能力がまだ足りていないところがあると気づくこともでき、質の良い時間であったと思います。



英語の授業

まだ、入学したばかりで学校慣れをしていないこの 4, 5, 6 月に得た力は、高校三年間だけでなく、将来にわたって発揮できるチャンスがあるはずなので、探究基礎 I で身につけた力を大切に、さらに伸ばしていきたいと考えています。



地歴公民の授業



国語の授業